

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS必修 助産師必修
担当教員			
◎石田和子、常盤洋子、尾崎昌宣、若林広行			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 常盤 洋子 尾崎 昌宣 若林 広行	【所属】 新潟県立看護大学 同上 前新潟薬科大学薬学部 同上	【研究室】 317 320	【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
【本学の科目区分】 共通基盤分野				
【D P 1】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/>				

到達目標	1. ケアとキュアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養過程の全般を管理・実践するための基盤となる知識・技術について述べることができる。 2. 緊急応急处置、薬物動態と薬力学、処方上の留意点と服薬指導、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心とした高度実践看護師としての看護の視点で、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理を実施できる。
------	---

授業概要	臨床薬理学の総論的事柄、代表的な病態や徵候・症状に用いられる薬剤について、オムニバス方式で講義する。最後に事例をとりあげ、看護の立場から服薬管理に関するディスカッションを行う。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・総論①薬物動態と薬力学 学修内容： ①生体に対する薬物の作用のしくみ（機序）について概説する。 ②受容体理論と用量反応曲線について概説する。 備考：尾崎
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・総論 ②薬物処方上の留意点と調整 患者への薬物処方内容と量の決定条件 学修内容： ①薬物の吸収・体内分布・代謝・排泄と血中濃度との関係について解説する。 ②①を踏まえた処方上の留意点と処方内容について解説する。
	3	備考：尾崎 授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・総論③注意すべき副作用と相互作用 学修内容：特徴的な有害作用について解説し、多剤併用との関連について概説する。 備考：尾崎
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・総論④薬物の与薬と服薬管理 学修内容：主な病態における薬物の体内動態の特徴を解説し、薬理作用の変化について概説する。 備考：尾崎
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・各論①循環・呼吸器系の薬剤 学修内容： ①高血圧・虚血性心疾患の病態に基づき、治療薬の科学的根拠を解説する。 ②心不全の病態、急性心不全、慢性心不全の治療方針・治療目標について解説し、治療薬の理論的背景を概説する。 ③閉塞性肺疾患の病態に基づき、治療薬の科学的根拠、作用機序、治療薬の選択について解説す

		る。 備考：若林
6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・各論②感染症の薬剤 学修内容： ①感染症の病態に基づき、治療薬の科学的根拠を概説する。 ②肺炎などの治療薬の科学的根拠、作用機序、治療薬の選択について解説する。	
7	備考：尾崎 授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・各論③代謝異常と薬剤 学修内容：各代謝障害とその弊害、治療薬の科学的根拠、治療方針、目標について概説する	
8	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・各論④腫瘍と薬物療法 学修内容：悪性腫瘍と抗腫瘍薬について概説する。	
9	備考：尾崎 授業内容 授業形態：講義 学修課題：臨床薬理学の基礎・各論⑤腫瘍薬物療法の有害事象 学修内容：抗腫瘍薬・主な種類と作用機序、適応、有害作用について概説する。	
10	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤①疼痛-1 痛みの診断と鎮痛薬の選択と適用 学修内容： ①オピオイド鎮痛薬の基本的作用機序について解説する。 ②オピオイド鎮痛薬以外の薬剤の基本的作用機序について解説する。	
11	備考：尾崎 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤 ②疼痛-2 鎮痛薬の病態下での適応と患者への副作用説明 学修内容： ①オピオイド鎮痛薬の臨床応用としての疼痛管理について解説する。 ②オピオイド鎮痛薬以外の薬剤についての疼痛管理について解説する。 ③オピオイドローデーションおよび副作用を解説する。	
12	備考：尾崎 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤③神経症状 学修内容：各疾患の神経病理学的背景と、それぞれの治療薬の作用機序、有害作用、長期使用上の問題点について概説する。	
13	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤④精神症状 学修内容：各精神症状と、それぞれの治療薬の作用機序、有害作用、長期使用上の問題点について概説する。	
14	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤⑤消化器症状 学修内容：消化器症状の背景となる病態について触れ、治療薬の科学的根拠、作用機序について解説する。	
15	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：徴候・症状と薬剤⑥腎・泌尿器症状 学修内容：腎・泌尿器症状の背景となる病態について触れ、治療薬の科学的根拠、作用機序について解説する。	
16	備考：若林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：周産期医療と薬剤 学修内容：妊娠と薬剤（催奇形性）、授乳と薬剤（母乳への移行性） 妊娠高血圧・妊娠中毒症の治療薬剤、早産防止剤・分娩促進剤 新生児黄疸と薬剤、新生児脳出血予防薬剤などについて解説する。	
17	備考：若林 授業内容 授業形態：演習 学修課題：事例検討（発表） 学修内容：学んだことを系統的に事例に適応させ、高度実践看護師あるいは助産師としての視点で検討する。 備考：石田、常盤	
事前・事後学習	事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。	

評価方法、評価基準	到達目標に対して、レポート 50%、ディスカッションへの参加状況 30%、プレゼンテーション 20%
テキスト	教科書は指定しない。参考書および文献はその都度紹介する。
参考図書・資料等	参考書および文献はその都度紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	事例検討など事前に各自、提示する資料を作成し人数分の資料を学生が準備する。 ★第16回については、助産師コースの学生が受講する項目です。他の高度実践看護師コースの学生は受講する必要はありません。
教員からのメッセージ	授業に関する質問等がある場合、メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー	石田、常盤が窓口となり対応する。事前にメールで連絡すること。